



## 充実の1学期！ 有意義な夏休みを！

コロナ禍の中でスタートした令和3年度ですが、臨時休業になることもなく、学校生活を送ることができました。始業式、入学式、体育大会、市中総体などの行事も予定通り行うことができ、大変嬉しく思っています。

本校には「相共に 自ら伸びる 有中生」という校訓が掲げられています。この校訓は、昭和45年に旧有家中学校と旧堂崎中学校が合併して、新生「有家中学校」としてスタートして以来50年以上、引き継がれている校訓です。この校訓の基で先輩達が築いた伝統を受け継ぎ、有家中学校の生徒であるという誇りをもって生活してほしいという話をしていましたが、この1学期間を振り返ってみると、意欲的に学習する生徒、規則正しい生活を送る生徒がほとんどで、他に誇れる状況であったと感じています。運動面でも大変活躍してくれました。この充実した1学期間を夏休み以降につなげていかなければなりません。

明日から42日間の夏休みです。勉強、部活動、読書、手伝い、遊び…といろいろな計画があると思いますが、規則正しい生活を心がけ、充実した夏休みを過ごしてほしいと願っています。

夏休み中も、部活動や駅伝練習等がありますので、多くの生徒は朝から登校します。毎年、熱中症による負傷者が続出していますが、朝食を必ず摂取するとともに、こまめな水分補給と休養によって健康的な毎日を過ごしてほしいと思います。

夏休みは、子供という時間が増えます。特に気に留めていただきたいことを以下に示しますので、参考にしてください。

### ○ 子供の心の成長を促す

思春期の子供は、親の言うことに反抗しているうちに、勉強にも身が入らなくなることがよくあります。しかし、親が上手にサポートしてあげれば、子供の心の成長を促すことができ、それが勉強意欲にもつながっていきます。



### ○ 信頼して任せる、ダメなことは「ダメ」とはっきり言う

中学生の時期は親に干渉されることを嫌がるため、なるべく子供を信頼して任せてほしいと思います。ただ、親として「これだけは言っておきたい」ということもあると思います。その時は強い気持ちではっきりと伝えてください。そうすれば、子供は「越えてはいけな一線」を敏感に察知するはずです。

### ○ 「ありがとう」と感謝する

反抗的な子供には何を言っても通じないように感じがちですが、子供は親の言うことや態度を感じとっています。手伝いをしてくれた時などは「ありがとう」と声に出してください。そっけない態度でも、きっと心の中では喜んでいきます。

## ～学校閉庁日の設定について～

生徒のリフレッシュを図るとともに、家庭でふれあう機会を増やしたり、夏季における学校の省エネルギーを推進する目的で、8月10日（火）～15日（日）を学校閉庁期間とし、原則として部活動も行いません。

この期間中は、学校を施設し問い合わせ等に対応する者がいないため、必要に応じて南島原市教育委員会学校教育課へご連絡ください。（TEL：0957-73-6702）

ご理解・ご協力をお願いします。

## ～各種大会で多数入賞～

＜南島原市選手権（女子ソフトテニス）＞  
 ○3位（2位トナリ）中村彩乃・林田明希子 ペア  
 ○3位（3位トナリ）永石 藍・森本まゆ ペア

＜南島原市防犯少年武道大会（剣道）＞  
 ○準優勝（3年男子） 藤原 凰多  
 ○3位（3年男子） 中川 剛琉  
 ○3位（3年女子） 八木 花椿  
 ○3位（1・2年男子） 石橋 陽貴  
 ○3位（1・2年女子） 草野 文嘉



## 8月の行事予定

1	日	県吹奏楽コンクール（県央地区）	
2	月	二者面談・三者面談	
3	火	二者面談・三者面談	
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日	山の日	
9	月	全校登校日（平和集会）	
10	火	学校閉庁日	学
11	水	学校閉庁日	校
12	木	学校閉庁日	閉
13	金	学校閉庁日	庁
14	土		期
15	日	家庭の日	間
16	月		
17	火		
18	水		
19	木	全校登校日（実力テスト）	
20	金	全校登校日（実力テ） *ブレ給食	
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

## ＜校長室の窓から＞

武道の教えに「守・破・離」という言葉があります。「守」とは、師や各流派の教えを忠実に守り、それからはずれることのないように精進して身につけよ、という意味です。「破」とは、今まで学んで身につけた教えから一歩進めて他流の教え、技を取り入れることを心がけ、師から教えられたものにこだわらず、さらに心と技を発展させよ、という意味です。「離」とは、破からさらに修行して、守にとらわれず破も意識せず、新しい世界を拓き、独自のものを生みだせ、という意味です。

「守・破・離」は単に武道の世界だけの教えではないような気がします。学問も経営も技術も、全てにあてはまります。師に教えられるだけでは発展はありません。学校で教えられたことを基に、自分で更に深く追求し、発展させてほしいと思います。夏休みは、自分で学習する時間が増えますので、自分を磨く修行の機会と言えるかもしれません。

「守・破・離」の教えのとおり、将来、学校の先生や親を越える人間に成長してくれることを願っています。